

住民が詐欺被害に決して遭わない対策

- 直接電話で相手と会話しないこと（録音機を利用しましょう）
- もし万が一それらしい相手と電話口会話してしまったら、勇気をもって「その電話を切る」（再度かかってきても二度と受話器をとらない）
- 自分で解決しようとしなくて、ご家族や頼れる知人・ご近所に相談すること
- お金を振り込む行為をしない、通帳やキャッシュカードを他人には決して渡さない、カードの暗証番号も他人に知らせない

上記の三点を基本動作（絶対に守ること）とすることで、確実にこの種の詐欺に遭う機会は減ります。お近くの高齢者に機会ある度にお知らせしましょう

- ついでに、怪しいと思ったら、わざと騙されるふりをし、警察に相談（110番通報）する（犯罪グループの検挙に繋がりを、同じような人たちが騙される、被害に遭うことの防止に貢献できます）
- 千葉県警察本部発行「振り込め詐欺被害者の声（平成26年度作成）」を一度読んでみませんか？ PDF資料データやその印刷紙面でのご提供が可能ですので、ご希望の方はこちらまで「振り込め詐欺被害者の声の資料（データ・または紙面）希望」とメール標題に記載のうえご送信ください。

 boux2@kazakita.org

- 柏市や柏警察署で費用を補助している高齢者層が直接電話で詐欺の相手と話さないための、防止電話機の本年度支給は今期分につき10月上旬で終了しました（ご要望の方は、来年4月以降に柏警察署生活安全課あるいは柏市役所防災安全課にご照会をお願いします）。

本稿はこれで終わり